

マダニが媒介する感染症「重症熱性血小板減少症候群（SFTS）」に関して

2017年06月28日

大日本除虫菊株式会社

6月24日に広島県三原市内の女性が重症熱性血小板減少症候群(SFTS)を発症して死亡したとの報道を受け、マダニの生態と、マダニが媒介する感染症「重症熱性血小板減少症候群(SFTS)」について、下記の通りお知らせいたします。

1. マダニについて

- ・生息場所は山の中をはじめ様々で、民家の庭、畑、公園などにも生息しています
- ・雌雄ともに、孵化してから死ぬまで動物の血液を餌とします
- ・草の上などで待ち伏せ、近くを通った動物に取り付き血を吸います
- ・マダニの多くは、春から秋（3月～11月）にかけて、活動が活発になります

2. マダニと重症熱性血小板減少症候群（SFTS）

- ・日本国内ではマダニが人に媒介する感染症として数種類が知られていますが、その中で2013年にマスコミ等で取り上げられ話題になったのが、SFTS（重症熱性血小板減少症候群）です。

3. SFTS（重症熱性血小板減少症候群）とは？

- ・2009年に中国、2013年に日本で初めて感染者が確認されたマダニ媒介性感染症です。
- ・主な症状は発熱と消化器症状で、重症化すると死亡することもあります。

4. マダニ媒介性感染症にかからないために

マダニ媒介性感染症にかからないためには、次の2つが重要です。

(1) マダニに咬まれないようにする

- ・山林等に入る際は肌の露出を出来るだけ少なくしましょう。
- ・人体用虫よけ（プレシャワーシリーズ、虫よけキンチョールシリーズ）を使用しましょう。また、服の上からもお使いいただける人体用虫よけ（虫よけキンチョールDF、プレシャワーDF）を衣服の上から噴霧することでマダニの付着を減らすことができます。
- ・山林等で着用した衣類は屋内に持ち込まず、帰宅後は速やかにシャワーを浴びましょう。

(2) マダニを駆除する

- ・庭などの身近なマダニ生息場所では、粉剤（金鳥粉剤）で予防しましょう。
- ・見付けたマダニは、スプレー式殺虫剤（ダニがいなくなるスプレー、キンチョール、ゴキブリハンターなど）で駆除しましょう。

尚、これらの人体用虫よけや殺虫剤を使用する場合は、使用上の注意をよく読んで正しくお使いになることをお願いいたします。

マダニに関する情報はKINCHOホームページの「ウルトラがいちゅう大百科」にも掲載しておりますよろしければこちらをご覧ください。